

5 世代的継承の党員拡大 若い世代を党に迎える 5つのヒント

みなさんの支部では入党の働きかけにふみだせているでしょうか。

支部のみなさんの思い、悩みにこたえて党員を迎えるために、全国の経験に学んで「5つのヒント」にまとめました。党員拡大をおずかしくせず、「入党のよびかけ」を思い切って活用し、広く入党をよびかけ、すべての支部の力で「集中期間」（4月末まで）を成功させましょう。

（「しんぶん赤旗」2025年12月2日付掲載）

日本共産党中央委員会組織局

1

「入党のよびかけ」 読めばみんなの心に響く

新しい党員を迎えたいという思いがあればどの支部でも党員拡大にとりくめます。支部の気持ちを高めるのにぜひ活用したいのは新しい「入党のよびかけ」・赤リーフ（以下、「よびかけ」）です。みなさんの支部ではもう読まれたでしょうか。

「歴史の岐路に社会進歩をすすめる生き方を」—「よびかけ」は、高市政権の危険性ともろさ、くらしでも平和でも自民党が陥る危機の根っこにある「二つのゆがみ」、平和と人権めざす世界の大局的な流れ、資本主義のゆきづまりをのりこえる社会主義・共産主義の社会の魅力と展望をときあかし、大切な一人ひとりの人生をどう生きるのか、日本共産党員としての生き方が心にひびく内容です。「支部会議で輪読したら胸が熱くなった」「選挙で協力してくれた若者に読んでもらったら、共感し、入党の背中をおしてくれた」などの声が寄せられています。

支部会議で、「よびかけ」を読みあい、党に期待をよせている方々にいま入党してもらう意味、「集中期間」で支

部が世代的継承にふみだす大切さを、私たちの党員人生もふりかえり、党の未来への思いも交流しながら、語りあいましょう。「よびかけ」を渡せる人、読んでもらいたい人、選挙で協力いただいていた方、「赤旗」読者、後援会員やJCPサポーター、家族など、視野を広げて届け、感想を聞かせてもらいましょう。2人、3人、名前があがれば、「よびかけ」を届け、「ぜひ読んで感想を」「党に入ってほしい。読んであなたの思いを」など、相手に合わせて働きかけましょう。

入党の働きかけは難しいことはありません。「よびかけ」を読み、感想や党への思い、入党へのためらいなどを聞き、支部のみなさんが自分たちの生き方や活動を紹介し、励ますことです。「入党の働きかけに失敗はない。人間的信頼関係をきずくとともに、一緒に綱領を学び、党員の活動や生き方を伝え、ためらいや不安をのりこえて決意にいたるまでの一回一回の働きかけに大切な意味がある」という第28回大会第二決議の方針どおりに系統的な努力を大切にしましょう。

「よびかけ」の活用に徹して、どう生きるか、日本共産党に入党する意味を多くの方々と明るく語り合う「集中期間」にしましょう。

2 「つながり名簿」 働きかけ視野広がる

「若い人とのつながりがない」——6中総決定は、支部の悩みにこたえる努力方向として、「つながり名簿」づくりと要求対話の活動をよびかけました。10月16日に開いた「若い世代を対象にした『ミーティング』、要求対話と『つながり名簿』づくりの経験を聞く会」は、豊かな経験、たくさんのヒントが交流されました（『月刊学習』12月号に全記録を掲載。オンデマンドでの視聴方法は都道府県・地区委員会にお尋ねください）。

「『つながり名簿』はすぐに入党対象者になる名簿ではない。ここから対話をして一人ひとり働きかけを具体化し、ニーズをつかみ、時間をかけて育てていく名簿」などの発言に、「つながり名簿に命が吹き込まれる感じがした」などの感想が寄せられています。

「つながり名簿」のイメージがつかまれ、地区・支部の視野が広がっています。地域支部では、「『つながり名簿』の意味を理解し、支部で話し合ったら50人の名簿に」「『聞く会』がヒントになり、すぐに党に入るかどうかでなく、子育てで頑張っている人、子どもの不登校で

悩んでいる人、介護現場で高齢者を支えている人など、要求や苦労のある人をだしあっている」などの経験が生まれています。

職場支部でも、「支部会議のレジュメに毎回、『つながり』を書き、非正規だが組合で頑張っている、異動したばかりで元気がないなど、一人ひとりの近況を交流し、どう働きかけていくかを話し合っている」など、同僚への系統的な働きかけが探求されています。

「『つながり名簿』は時間をかけて育てていく名簿」——こういう見方ならどの支部も労働者や若い世代とのつながりはあります。みなさんの支部でも、党員が仕事や生活をともにする人、要求運動の仲間、地域活動や趣味のつきあい、参院選の要求対話で出会った人など、だしあってみましょう。

新しいつながりを広げる活動として、要求対話・アンケートは、つながりのある人だけでなく、地域の子育て世帯や単身世帯などへの軒並み訪問などでも活用しましょう。また、「赤旗」日曜版電子版は、つながりのある若い世代に日本共産党をより深く知ってもらい、多彩な記事から人間らしい生き方を考えてもらえる魅力がまった新聞です。登録方法を身につけ、3人、5人と若い読者を広げましょう。

3 入党懇談会・ミニ「集い」 どの支部でもできる

「集い」は、要求、党への思いを楽しく語りあい、要求運動、選挙、党づくりをすすめる推進軸です。くりかえし開いている支部では、活動が豊かに発展し、「集中期間」でも黨員、読者を増やす力になっています。

「人が集まらない、いつも同じ顔ぶれ、党を語る人がいない、などの思いから「集い」を開けていない支部もあります。まず、「よびかけ」を渡した人と入党懇談会・ミニ「集い」を開くことから始めませんか。

黨員宅などに招き、綱領・規約も準備して親しい黨員や議員など数人で入党について楽しく語り合いましょ。入党にいたらなくても、語り合った内容をふりかえり、相手の関心、困りごと、入党へのためらいなどを支部で共有し、系統的な働きかけをスタートしましょう。

「つながり名簿」で名前をあげた方々には、党についてよく知らないが、仕事や子育てで苦勞していたり、ジェンダー、気候危機などに関心がある方もいるでしょう。そういう方には、地方議員の協力も得て、切実な願

い・要求を語りあう会、願い・要求と党の綱領を学びあう会など、多彩に「集い」を開きましょう。建設、教員、自治体の職場支部は、志位和夫議長の「集い」の動画やパンフを活用しましょう（動画は党公式YouTubeチャンネルで視聴できます）。

世代的継承のための「ミーティング」や「集い」が県、地区で開かれ、支部が若い世代に働きかけるきっかけとして力になっています。一つひとつの「集い」におけ、「つながり名簿」を充実させ、視野広くお誘いしましょう。



4 「赤本」(『いま「資本論」が面白い』)

世代こえた連帯生む

いま評判の二つの『Q & A』の学習は、ベテランも若い世代、新入黨員も、活動経験や世代の違いをこえて連帯できる支部づくりの力になっています。『Q & A いま「資本論」が面白い』(「赤本」)、『Q & A 共産主義と自由』(「青本」)を学んでいる支部では、「搾取ってこういうことだったんだ」「自分たちのたたかいで社会は変わるって、マルクスはすごい」など、ベテランも若い黨員も、自身の体験も交えながら理解が深まり、支部会議が明るく、活気づいています。`自由な時間こそ真の富`、社会主義・共産主義の社会への変革の展望、変革の主体となる労働者階級の成長、日本共産党の役割などを学ぶことで、黨員としての生き方への深い確信がつかまれています。

すべての支部が「赤本」「青本」の学習を始めましょう。一人ひとりが学ぶ楽しさ、党への誇りをつかむことで、支部会議が充実し、党を語る自信がわいています。若い世代を誘って「赤本」学習会にとりくみ、「私は月70時間も残業しているが、大企業の労働者も搾取されている

とわかった」など、入党する経験も生まれています。

「赤本」も「青本」も、30分輪読し、感想や疑問を交流すれば、数回で、読み終えることができます。二つの『Q&A』をより深く理解するために、「志位議長と斎藤幸平さんとの対談」(リハック)、「77分で『資本論』がよくわかる」(選挙ドットコムちゃんねる)、国会議員団・事務局での志位議長の講義(日本共産党YouTubeチャンネル。『月刊学習』11月号)などもあわせて視聴・活用しましょう。

新しい党員を支部に迎えたときも、みんなで二つの『Q&A』を学びましょう。若い世代にとって、自分たちが直面する貧困と格差の拡大、戦争、気候危機など、矛盾にみちた今の社会を変える展望を学ぶことは、党員として誇りをもって生きていくうえで、何より大切なことです。新入党員とともに、二つの『Q&A』を学んで党への誇りと確信を共有しましょう。

5 「楽しく元気の出る支部会議」 互いの成長支え合い

「若い人を迎えても今の支部では」という悩みもあります。

党員としての成長は、入党の働きかけから始まります。6中総決定は、党規約どおりの入党の働きかけ、新入党员的の支部活動への確実な参加、新入党员教育、週1回の支部会議の開催はじめ「党生活確立の三原則」(※)を強調しました。これら一つひとつを新入党员、若い党员がとりくめるよう、支部はていねいに援助しましょう。

※「党生活確立の三原則」(支部会議に参加する。日刊紙を購読する。党費を納める)

とくに「楽しく元気の出る支部会議」のために日常的に努力することは、新入党员的の初心と可能性を大切に、支部での人間的連帯を深め、みんなが学習し成長できる支部づくりのカナメです。

若い世代は、仕事や子育て、介護など多忙な日々を過ごしており、党员としての成長を支えるには、親身であたたかいサポートが大切です。ベテランも若い世代も、

たがいの仕事や生活の喜びや苦勞に耳を傾け、支えあい、
支部の仲間としての信頼関係をきずいていきましょう。



世代的継承「経験を聞く会」全記録

『月刊学習』2025年12月号

「若い世代を対象とした『ミーティング』、要求対話と『つながり名簿』名簿作りの経験を聞く会」(2025年10月16日、オンライン)の全記録は、『月刊学習』12月号(387円)に掲載されています。世代的継承をすすめるための実践的なヒントが満載です。



志位和夫議長が「赤本」「青本」の理論的背景を語った2つの講義など掲載した「緑本」——『自由な時間と「資本論」マルクスから学ぶ』(1,760円)も好評発売中です。

お申し込みは最寄りの県・地区委員会まで。



「赤旗」日曜版電子版 トリセツ講座(動画)

若い世代とのつながりを広げる新たなツール、日曜版電子版の意義と魅力が8分でわかる動画です。